



CAMPUS

2017 SUMMER

Vol.
127

奈良工業高等専門学校

平成29年8月発行
〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報室
TEL. 0743-55-6034(CAMPUS担当)
ホームページ <http://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp



春季スポーツ大会



入学式



シンガポール
ナフヤフ
ポリテクニク受入



C contents

- 巻頭言 02
- 新生生の声 03
- 学生相談室から 04
- カウンセラーだより 04
- 学生チャレンジプロジェクト 05
- 学生会から 05

- クラブ・同好会紹介 05
- グローバル教育センターから 06
- 留学生紹介 06
- 国際交流プログラム 07
- 図書館だより 08

I information

- ☆入試広報 2017
- ☆平成29年度 奈良高専 公開講座
- ☆奈良国立博物館「キャンパスメンバーズ」情報
- ☆学生課窓口のご案内
- ☆行事予定 (8月～11月)



武田 充啓

奈良工業高等専門学校 教務主事

奈良高専の教育理念の一つである「幅広い視野」について、今日は述べたいと思います。視野の広さと聞くと、何となく「教養」や「文化」と関係がありそうに思えます。私がここで言おうとすることは、幅広い視野は、たとえば高い位置どりがその奥行きや展開の把握を容易にすることなどを考え合わせると、「広さ」と言いながら、じつは「高さ」（あるいは「深さ」）にも関係しているものではないか、ということになるかと思えます。

今朝、何気なくラジオを聴いているとアーネスト・ヘミングウェイの言葉が紹介されていました。それは「勇気とは、窮地に陥ったときにみせる気品のことである。Courage is grace under pressure.」という言葉でした。この言葉を聞いて、ジョージ・オーウェルのことが思い浮かびました。

オーウェルのエッセイ「絞首刑」に「水たまりを避けて脇によける」死刑囚の話が出てきます。死刑囚は、刑務所の庭に押えられた絞首台に向かおうとしているのですが、その死刑囚が足元にある水たまりに気づき、それを避けようとするのです。そのしぐさを目にした瞬間、オーウェルは死刑の本質、その誤りを直観します。彼が私たちと何も変わらない存在であること、同じこの世界を生きていること、その命を奪われ、心を消され、そのようにしてひとつの世界が失われてしまうこと。

社会学者の栗原彬はオーウェルを読んでこう書いています。「限界状況で、教養は、生の証しとか、人間の尊厳としか言いようのないものとして、そっと現れる」。「私は教養ということばで、身体が他の身体と交通しながら、自分と世界とを知り、またそれを変えていく生の軌跡を思い描く」（「教養とは、自分と世界を変える身体行動」）。

勇気が窮地にこそ現れる気品のようなものであるように、教養は限界状況で顕れる人間の尊厳のようなものなのかもしれません。栗原氏が身体に注目している点にも注意しましょう。教養はじつは頭のなかにあるのではなく、身体にしみこんでいるものだとする点です。もうすぐ死ぬことが頭ではわかっていても、目の前に水たまりがあれば、それを避けてしまう。これが「教養」だとすれば、吉田健一が次のように言うのも頷けます。

「教養といふのは何かいいもので、自分も教養を身に付けたいと考へるのはこれも各自の自由であるが、だから是が非でも教養を身に付けようとするのは、教養に関する今日のイデオロギイに縛られて、既に教養の意味を履き違へてゐる。教養といふのは文化と同じで、それがあつかないかは自然の勢がこれを決定するのであり、つまり、我々の努力の対象にならず、従つて、我々が知つたことではない。」（「二十年後の日本文学」）

吉田氏は、教養は努力して手に入れるものではない、むしろ自分でその豊かさを楽しみきることができれば、それが自然と「教養」や「文化」につながっていくといえます。

前期の1年生の国語の授業では「文化としての科学」（池内了）という教材を取りあげました。科学が文化であり、文化として社会の役に立つこと。また、文化としての科学はどういう条件で成立するのか、そのために専門家である科学者は何に責任を持つことになるのか、といったことが書かれていました。自然科学は、いまや「教養」の一部と言えるでしょうが、それもまた「身につけるべきもの」としてしまつたら、途端に窮屈なものになってしまいそうです。

政治学者の苅部直は先の栗原氏の文章を次のようにパラフレーズしています。「人が、世界をとらえ、しかもその世界が独自の原則にのっとり動いていることを、深く認めながら、それを理解し、世界とのおりあいをつけてゆくこと。他者が、自分とはまったく異なる志向をもった人間であることを了解しながら、ともに関係を保持し、新たに作りあげてゆくこと。そうした一連の営みを通じて、自分自身が変わってゆくこと。知識や情報としての「教養」をこえた、「教養」の極限と言うべき、こうした心の習慣が、「教養」の営みの基盤になる」（『移りゆく「教養」』）。

世界（あるいは他者）を「理解」し、それとの「おりあい」をつける、その過程で自分が「変わっていく」こと。こうした「心の習慣」、すなわち世界を耕すことで（cultivate）自身もまた耕され成長していくというこの姿勢に、どうやら教養（culture）のベースがありそうです。

おそらく、何が教養になるかを考えて、それを獲得しようとしても仕方がありません。最初に挙げたヘミングウェイに「毎日は新しい一日である。Every day is a new day.」という言葉もあります。日々を新たに重ねて、好きなことの豊かさを心底味わい、仲間と共に極めつつ、自らもまた変わっていく。そのいわば「深掘り」の過程で身体にしみついたものこそが、じつは「幅広い視野」なのかもしれません。





●入学式(4月6日)の宣誓者を務めて

機械工学科1年 國枝 沙耶

入学式当日の朝、私は緊張していました。あまり大勢の前で発表するような経験がなかったので、噛まずに言えるか、大きな声ではっきりと宣誓文を読み上げることができるか不安でした。体育館に入ったとき、その気持ちは大きくなりました。私が想像していたよりも学生や保護者の方がたくさんいて、更に緊張してしまいました。入学式が始まってから、宣誓文を読み上げるまでの時間がとても長く感じました。宣誓文は無事に読み上げることができました。着席した後、新たな学校生活が始まったんだと、改めて感じました。あれから約4ヶ月経ち、高専での生活に慣れてきた感じはしますが、決して油断することなく、5年間明るく楽しく過ごしていきたいです。

●クラブに入部して ~ソフトテニス部~

電気工学科1年 荷村 珠莉

私が所属しているソフトテニス部は、とても元気で活発な部活動です。先輩方も優しく、出来ていないことがあればわかりやすく教えてくださいます。テスト勉強でわからないことを先輩にきいたり相談したりできるほど仲のいい部活動なので、毎日楽しく活動できています。また、年に一度の高専大会に向けて、一生懸命練習に励んでいます。

●新入生オリエンテーション(4月7日・14日)に参加して

電子制御工学科1年 本田 翔大

ハイキングに行くまでは、皆あまり話さず、どう接すればよいかわからないと言った感じでした。しかし、ハイキングで歩いているときに話しかけてくれた人がいて、そのあとの昼食時や自由時間で他の人とも色々なことを話したり遊んだりしました。そうして皆が打ち解けてから、クラスの雰囲気がとても明るくなりました。最初はハイキングはあまり乗り気ではなかったのですが、今ではとてもいい思い出の一つです。

●新入生オリエンテーション(4月7日・14日)で強まったクラスの結束

情報工学科1年 絹谷 凜

新入生オリエンテーション2日目には矢田山の『遊びの森』に行き、クラスのメンバーと親交を深めることができました。

途中、急な坂道で自分の運動不足を呪ったりもしましたが、クラスのみなどと話しているうちに大きな広場に到着し、そこで昼食をいただきました。

11のメンバーは個性的すぎて衝突が起こらないか心配でしたが、濃いもの同士仲良くやっていけそうだったので、このみんなで5年間走り抜けることができたら良いと思います。

●春季スポーツ大会(5月16日)に参加して

物質化学工学科1年 柏崎 夢斗

高専生となって初めてのスポーツ大会。高専生活にもかなり慣れてきていたので十分に楽しめました。自分が出たバドミントンやサッカーだけでなく、スポーツ大会の全ての競技は2人以上で参加します。ですので、誰かと協力する事がどれだけ重要かが分かりました。

また、このスポーツ大会で他のクラスの方や同じクラスでまだ話したことのない方もコミュニケーションをとることができ、とても良い機会となりました。

秋季スポーツ大会では、どのクラスももっと協力し合い、思い出に残るようにしていきたいです。



新入生オリエンテーション(矢田山遊びの森にて)



新入生オリエンテーション



入学式



入学式の宣誓者を務めて



ソフトテニス部のメンバーと一緒に



春季スポーツ大会



学生相談室から



学生相談室長
鍵本 有理
(一般教科)



相談室のご案内 ～保護者の方にも紹介を～

最近、「夜廻り猫」という漫画が気になっています (Webで読めます)。「む。涙の匂い」。遠藤平蔵という名前の猫が、困った人を察知して、声をかける。例えば、せっかくの休日、目が覚めたら夜の9時だった……という女性。どうしようもないけれど、遠藤とぼつりぼつりと話をするうちに、もう少し頑張ろう、という気になる。こんな風にちょっと寄り添ってくれる人がいるといいですね。もしよければ右記→の相談員が相手になります。

また、保護者の方がカウンセラーに相談することも可能です。守秘義務は守りますので、ぜひ利用してください。

メンバー紹介

- | | |
|----------|------------------|
| 学生相談室長 | ※鍵本 有理 (一般教科) |
| 学生相談副室長 | 榊原 和彦 (一般教科) |
| 学生相談員 | 北村 誠 (一般教科) |
| // | 千葉幸一郎 (一般教科) |
| // | 坂本 雅彦 (機械工学科) |
| // | 和田 任弘 (機械工学科) |
| // | 石飛 学 (電気工学科) |
| // | 平井 誠 (電気工学科) |
| // | 押田 至啓 (電子制御工学科) |
| // | 西田 茂生 (電子制御工学科) |
| // | 内田 眞司 (情報工学科) |
| // | 松尾 賢一 (情報工学科) |
| // | ※宇田 亮子 (物質化学工学科) |
| // | 中村 秀美 (物質化学工学科) |
| // | ※篠畑 恵子 (看護師) |
| 特別相談員 | 中村 善一 (特別相談員) |
| 心理カウンセラー | ※福田 道代 (臨床心理士) |
| // | ※小枝久美子 (臨床心理士) |
- ※は女性相談員

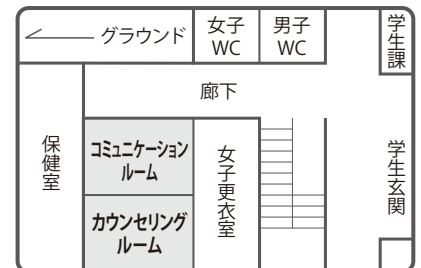
○利用案内

相談は面談、電話、メールでお受けします。カウンセラーとの面談予約は学生相談室・保健室または学生係(0743-55-6034)で受け付けています。匿名でも構いません。

曜日	担当者	開室時間	予約の要否
月・水曜日	学生相談員(右上の学生相談員)	14時頃～	予約不要
火曜日	福田道代先生(臨床心理士)	15時～18時	予約制(緊急時は可能な限りその場で相談に応じます。)
木曜日	中村善一先生(特別相談員)	14時頃～	予約不要
金曜日	小枝久美子先生(臨床心理士)	15時～18時	予約制(緊急時は可能な限りその場で相談に応じます。)

○学生相談室の場所

学生相談室(コミュニケーションルーム、カウンセリングルーム)の場所は下図のとおり、保健室の前にあります。



カウンセラーだよ!

サインをキャッチ! そしてつながろう

どの年代にもストレスはつきものですが、特に10代後半とその親世代の年齢層は、生理的にはホルモンの影響等で、そして社会的にはなすべき課題の多さで、大いにストレスを抱えやすい年代と思われます。そして、その世代の気分の波が激しいこと、抑うつ的になりやすいこと等、とても似ています。いわゆる「思春期」と「中年期」の危機です。

そんな危機状態に陥りやすい年代は特に、早めにストレスサインをキャッチして、それを誰かと共有してほしく思います。サインは、「体調の不調」「行動の変化」「気分の変化」で現れることが多いです。「行動

の変化」とは、例えば過度に飲酒喫煙摂取が増えたとか、過度に潔癖になったとか買い物が増えたとか。「気分の変化」とは、過度に怒りっぽくなったとかイライラしやすくなったとか、過度に不安になってしまうとか。

そんな状況を「自分が弱い」「心配かけられない」と自分のせいにしてサインを見逃さないように。そんな状況にある周りの人を「甘えていよう」「面倒くさい」と見捨てないように。放っておくとどんどんこじれます。まずはそのサインについて誰かに話してください。話を聞いた人は、批判せずそれをじっくり受け取ってください。そして、例えば医療機関につ

臨床心理士 福田 道代



なが等考えてください。どうか一人で抱えないで。人とつながることが、状況改善にとっても大事です。サインを「話す」ことで言葉に置き換えることが大事です。相談室もあなたの話をお待ちしております。





学生チャレンジプロジェクト2017採択結果

学生チャレンジプロジェクト2017申請一覧

No.	エントリー部門	プロジェクト名
1	[B]キャンパス創造枠	目指せ! 日本一!! WROに挑戦!!
2	[A]地域創生枠	動くLaQを作ろう!
3	[B]キャンパス創造枠	テキサンレストアプロジェクト
4	[B]キャンパス創造枠	Restore for EV
5	[A]地域創生枠	奈良県企業×高専女子による共同開発プロジェクト



学生チャレンジプロジェクト2017採択プロジェクト

- 採択部門：【A】地域創生枠
- 採択プロジェクト名：エントリー No.5 「奈良県企業×高専女子による共同開発プロジェクト」
- 採択金額：81,200円
- 代表指導教員：一般教科 竹原 信也
- 指導教員：物質化学工学科 三木 功次郎
- 代表参加学生：電気工学科4年 朝雛 えみり
- 参加学生：電気工学科4年 小田 佳穂、阪本 真奈
電子制御工学科4年 東 優稀
物質化学工学科4年 橋本 歩実
- 採択部門：【B】キャンパス創造枠
- 採択プロジェクト名：エントリー No.3「テキサンレストアプロジェクト」
- 採択金額：100,000円
- 代表指導教員：機械工学科 福岡 寛
- 指導教員：機械工学科 谷口 幸典、平 俊男
- 代表参加学生：機械工学科1年 高橋 幸輝
- 参加学生：機械工学科1年 星田 大貴、
機械工学科3年 三部 竜太郎、末永 共助、藤井 惇平
電気工学科2年 松村 尚汰、電気工学科4年 中尾 翔也



学生会から

学生会会長 電子制御工学科4年 伊藤 洋介

新入生みなさんも入学して4ヶ月ほどになります。そろそろ“高専生活”にも慣れて来た頃でしょうか。高専は、学生の自由度が高く、自ら様々なことにチャレンジしていきける環境です。一般高校にあるクラブに加え高専特有のクラブや同好会、ロボコンプロジェクトなど、自分の興味があることに5年間掛けて打ち込むことができます。学生全員で構成される学生会はそれらの活動の根幹です。学生会には、各クラブや同好会で構成される部会、各クラスから選出された委員

で構成される委員会などと、それらを支える執行部があります。部会では、クラブや同好会がそれぞれの目標達成のために日々活動に励んでいます。各委員会では、スポーツ大会の運営や校内の美化活動、高専祭の運営などを行っています。そして執行部ではこれらの学生会活動が円滑に進むよう、会計の処理や行事の計画、準備、必要に応じて新入生歓迎会や交通安全運動などの活動を行っています。豊かな学生会活動を通して、有意義な高専生活を共に築きましょう!

クラブ・同好会紹介 vol.15

体育部	文化部	同好会
★アーチェリー	●からくり	★化学同好会
★合気道	★機械研究会	★合唱同好会
★弓道	★軽音楽	★クイズ研究会
★剣道	★茶道	★現代視覚文化研究会
★硬式テニス	★将棋	★生協学生同好会
★硬式野球	★情報処理研究会	★システム開発研究会
★サッカー	★吹奏楽	★数学同好会
★柔道	★美術	●電気技術研究会
★少林寺拳法	★放送	★料理研究会
	★陸上競技	

★印は既刊号で紹介したクラブ・同好会です。



バレーボール部

電気工学科4年 金子 千夏
物質化学工学科4年 堀 瑞希

バレーボール部は男子12名、女子6名の計18名で、木・日曜日以外の週5日活動しています。男子と女子で練習内容は異なり、男子は高専大会に向けて勝つことを目標に、また、女子は、人数が少ないため学年の壁がなく、和気あいあいと楽しく元気に練習に励んでいます。男女とも高専に入学してからバレーボールを始めたメンバーが多いですが、顧問の先生や週に一度来てくださる外部コーチに指導していただき、日々上達しています。年に数回OB会やOG会を開催して先輩方とのつながりも大切にしています。途中入部も歓迎なのでぜひ第二体育館まで覗きにきてください。



化学同好会

物質化学工学科5年 谷口 雄介

私たち化学同好会では、毎年11月に催される高専祭で物質化学工学科展として化学実験を通して地域の人や子供たちに化学の面白さや不思議を伝えようと努力しています。活動日は主に毎週木曜日で、科展で実施する実験内容の検討や予備実験しています。過去に実施した実験には、炎に金属水溶液を吹きかけると炎の色が変化する「炎色反応」、叩くと固まりゆっくり押すと液状になる「ダイラタンシー」、ケミカルライトの再現である「化学発光」、そして「人工いくら合成」など身近なものの再現から科学の学習に役立つテーマなどがあり、メンバーでアイデアを出し合いながら活動しています。メンバーは主に化学科の学生で構成されていますが、他学科の学生も大歓迎です。学生実験だけでは物足りない方、化学に興味がある方は是非私たちと一緒に活動しましょう。





グローバル教育センターから

奈良高専のグローバル教育について



グローバル教育センター(GC)長 松井 良明

グローバルに活躍できる技術者・研究者のニーズが高まる中、本校ではこれまでの国際交流事業、英語教育の充実促進、留学生の受入をベースに組織再編を行い、平成29年4月にグローバル教育センター(GC)を設置しました。

本校での本格的な国際交流事業の始まりは平成18年にさかのぼります。この年に策定した「国際交流促進計画」に基づき、オークランド大学(ニュージーランド)、スラバヤポリテクニク(インドネシア)、漢陽大学校(韓国)に計12名を派遣したのが始まりです。その後もプロジェクト研究を軸にした学生派遣が続いており、派遣した学生の総数はすでに200名を超えました。

一方、海外学生の短期訪問や短期留学の受入も積極的に行っています。本校が海外学校の短期訪問を受け入れたのは平成24年度のナンヤン・ポリテクニク(シンガポール)が最初です。同校からは毎年30名程度を受け入れており、平成27年度からリパブリック・ポリテクニク(シンガポール)、昨年からは香港專業教育学院からの受入を開始しました。

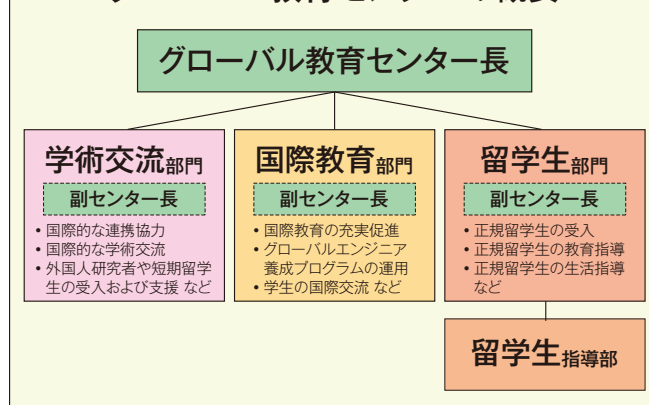
昨年度は受入総数が初めて80名を超えました。交流内容は学校紹介、文化紹介、キャンパス・ツアー、茶道体験、社会見学、企業見学などで、参加学生が英語によるコミュニケーション力の必要性を日本にいながら感じ取れる機会になっています。

そんな中、本校の「グローバル工学協働教育による国際競争力を有するプロフェッショナルリーダー人材の育成(GECEP)プログラム」が平成29年度「KOSEN(高専)4.0」イニシアティブ事業に採択されました。

グローバル教育センターを中心に本科対象のベーシックコースと専攻科対象のアドバンスコースを編成し、海外協定校や奈良先端科学技術大学院大学、豊橋技術科学大学とも協働して国内外での自学と実習を折り交ぜたプログラムを実施します。

これを機に、より多くの学生の視野を広げられるよう、本校のグローバル教育を一層充実していきたいと考えています。

グローバル教育センターの概要



留学生紹介



マレーシア



物質化学工学科3年 アニス
アニス ファシハ ビンティ イスマエル
ANIS FASIHAN BINTI ISMAIL

初めまして。私はマレーシアから来たアニスです。実は、私は函館高専に行きたいと思っていました。北海道の雪が見たかったし、綺麗な観光地たくさんあるし、函館は魚が美味しいと聞いていたからです。しかし、私はマレーシアの先輩と違って、好きな高専を選ばませんでした。政府から奈良高専に行くように言われました。ところが奈良高専に編入したことは私の人生の中で一番良いことで

した。なぜなら、先輩も、寮生も、事務寮の方も、調理師の方も、同級生も、先生方も、皆、優しく、たくさんのお手伝ったり、教えたりしてくれるからです。大変お世話になっています。そして、食堂もハラール食事をしてくれて、本当に感謝しています。食事はとても美味しいです。後は、奈良高専は高専の中でトップの学校だとよく聞いていました。以前、ここで勉強するとは夢にも思いませんでした。だから、ここで勉強する機会をもらって、一生懸命に勉強して、社会に役に立つエンジニアになりたいです。私は、今、茶道部に入っています。茶道として日本の文化を勉強しています。今まで、たくさん日本のお菓子を食べました。抹茶が好きなので、毎週美味しいお茶が飲めるのはとても嬉しいです。部活はすごく楽しいから、ラマダン(断食する)の時も、部活の時間を楽しみにしています。





モンゴル



物質化学工学科3年 **工二一**
トゥグスバヤル エネレル
TUGSBAYAR ENEREL

初めまして、モンゴルから来たエニーと申します。奈良高専へ来る前に東京の日本語学校で一年間勉強しました。日本に来て一年間と三ヶ月がたっています。日本へ来てから今までずっと、どんな時でも優しく教えてくれる日本の皆さんのおかげで一度も困ったことはありません。本当に

感謝しています。

小学校五年生の時、兵庫県丹波市で三ヶ月間ホームステイをしていた時、全然知らない外国人の私を自分の子供のように世話をしてくれた日本人の優しさを感じました。

だから、私は日本が大好きです。三年前から日本で留学するという目標に向かって一所懸命頑張って日本語や化学・数学を勉強していました。日本全国高専の中で高いランクである奈良高専に入ったことは他の人にはない大きいチャンスです。高専を卒業したら東京の大学に進学してたくさんの知識を身につけて、自分の国モンゴルばかりでなくこの世界の発展に貢献したいと思っています。

皆さん、三年間よろしくお祈りします。



国際交流プログラム

シンガポール派遣

情報工学科5年 **安西 崇**

昨年度末の春休み、僕は国際交流プログラムの海外派遣のメンバーの一人としてシンガポールへ行ってきました。現地では現地の学生たちとプロジェクトワークやフィールドワークを行なってたくさんの経験を積むことが出来ました。今日は僕が一人の日本人として現地で学んできたことを紹介したいと思います。

シンガポールは、あらゆる民族や宗教が共存する国です。僕はまず、彼らのお互いを尊敬しあい認めあう姿に感銘を受けました。学校では異なる宗教を信仰する学生たちが協力して研究を行い、公園では肌の色が違う子供たちが音楽に合わせて一緒にダンスを楽しんでいました。彼らは日本人にはない本質的な優しさを持っており、そしてそれは僕らが学ばなくてはならないことの一つであったように感じました。

次にシロソについて紹介します。シロソはシンガポールの誇る高級リゾート地、セントーサ島内の地名で、かつて太平洋戦争に於いて英国軍と日本軍が激突した時に重要な拠点と

なった場所です。ここには当時の史跡が数多く残されており、海外の視点から見た大日本帝国軍の姿が克明に描かれています。僕は史料の中で“Threats of Japan”、即ち“日本の脅威”という文言を見つけました。日本国内で戦争を学んできた僕らにとって戦争史上最も悲惨な出来事とは、米国による原爆投下に他ならなかったのですが、被占領国であったシンガポールに於いては日本こそが悍ましいほどの脅威であり、日本の敗戦によって涙を流して喜んだ人が何万人も、確かにいたのです。歴史の重要性の認識が各国によって違うのは当然ですが、だからこそ、このシロソのように日本の歴史を海外の視点から学ぶことのできる場所へ足を運ぶことは非常に重要であると考えさせられました。

このように僕は、海外へ足を運ぶことはその国の歴史や文化についてのみならず、海外から見た日本の姿を学ぶ貴重な機会であることを確認しました。また、この旅で仲良くなれた-Fan, Relay, Noelと海外の友人たちが心温まる歓迎をしてくれたことで僕らはいくつもの素晴らしい体験に立ち会うことが出来ました。本当にどうもありがとう。これから僕はこの経験を活かして、グローバルな研究や仕事の現場で活躍できる人材となれるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。





Library News

～図書館だより～

私たち、ブックハンティングでこの本を買いました!



3C 堀江・横山
「**貴族探偵対女探偵**」
過去作と同様、驚愕の展開が起きる本です!



2S 竹田
「**勉強の哲学**」

「勉強ってなんなん」という漠然としたモヤモヤを解消する手助けをしてくれるかも? <('・')>



2E 西川
「**面白いほどよくわかる! 犯罪心理学**」

心理学に興味がある人はぜひ読んでください!



4I 上田
「**猫でもわかるC言語プログラミング**」

面白おかしい挿絵に惹かれて。勉強が捗るかはさておき……



2I 岡山
「**よるのばけもの**」
「君の隣臓を食べたい」、「また、同じ夢を見ていた」に続く、待望の最新作となっています!!



4S 萬代
「**劣化国家**」

格差や法律など現代の先進国、特に西洋の抱える課題についての本です。



2S 西北
「**だれの息子でもない**」
50年後、100年後に本当にあるかもしれないコミカルなSF!



3E 森田
「**菩提樹荘の殺人**」

ドラマ化もされた原作シリーズの一作です。関西の地名もときどきでてくるので、ぜひ読んでください。



3M 末永
「**災震**」
毎日、何の刺激もない……「退屈だ!!」そう思っているあなたにオススメです! あなたの退屈な日常を、きっと吹き飛ばしてくれるでしょう!



4S 宮島
「**アイルランドの歴史**」

アイルランド史について分かりやすく書かれており、入門書として最適です。



2M 大林
「**天体嗜好症**」
名前に心惹かれました。この本が棚に並ぶのが、とても楽しみです。



5S 佐藤
「**スカナーに生きがいはない**」

エヴァンゲリオン元ネタらしいです。



1M 八代田
「**高い城の男**」
枢軸国が勝った未来、人々の自由はどうなってしまうのか。





Library News

～図書館だより～

ご挨拶

情報メディアセンター長 ^{ひら}平 俊男

こんにちは。本年度より情報メディア教育センター長を務めます機械工学科所属教員の平俊男です。どうぞよろしくお願いいたします。情報メディア教育センターは、教育用電算機センターと図書館からなる学生の教育支援を目的とした組織です。以下、奈良高専の情報メディア教育センターの概要と活動内容について紹介します。

教育用電算機センターが運営しているのは、以下の3室です。

- 情報処理演習室（総合情報センター棟）
- マルチメディア演習室（本館北棟）
- LL教室（図書館棟）

それぞれインターネットの利用が可能なコンピュータが備わっており、これら3つの演習室を利用することで、同時に3クラスの情報処理演習が可能になります。

教育用電算機センター関係の主な活動内容は以下のとおりです。

- ① 新入生対象利用者講習会（オリエンテーション、メール・アカウントの取得など）
- ② インターネット・フィルタリングの運用
- ③ 演習室利用者のマナー向上啓発活動
- ④ 教員の情報処理研究集会参加支援
- ⑤ 学生のプログラミングコンテスト参加支援

また、後援会の援助により、LL教室では平日20時までの時間外利用（英語自習を目的としたもの）を認めています。

奈良高専の図書館には約10万冊の蔵書がありますが、高専図書館としては標準的です。自慢できるのは貸出冊数です。2016年度には、学生対象では年間12668冊、総数で約14000冊でした。他高専の最新のデータが未だ分かりませんが、数年前の実績をみると、おそらく全国でも有数の貸出冊数だと思われます。

図書館関係の主な活動内容は、以下のとおりです。

- ① 新入生対象オリエンテーションの実施（利用案内）
- ② 文献情報検索講習会の実施（研究室単位）
- ③ 読書感想文コンクールの実施（国語科の協力を得ている、低学年中心、1月に表彰）

④ 読書週間活動（学生図書委員によるテーマ決定、館内展示開催）

⑤ 多読表彰（クラス対象のもの和个人対象のものがある、1月に表彰）

⑥ ブックハンティング（学生図書委員と教員が大阪の大型書店で選書・購入、年2回）

⑦ 図書館だよりの発行

⑧ 研究紀要の発行また、図書館では平日20時まで、土日16時30分までの時間外利用を実施しており、保護者や学外者の利用が可能になっています。

さて、図書館というと皆さんはどのようなイメージを持つでしょうか？本がたくさんある場所、自習にも使える空間、でもなんとなく薄暗くて、ちょっとひんやりとされていて、なんとなく湿っぽい、そんな感じでしょうか？では、同じように本がたくさん置かれている書店との違いはなんでしょう？実は私は未だあまりよく分かっていません。いわゆる浅い意味での「役に立つ」ということだけを目指してはいけない、と感覚的には思っているのですが。

一方、教育用電算機センターは、どういう存在でしょうか？パーソナルコンピュータといわれるものが汎用機の端末として備えられ、ついでにBASICを覚えられた時代（古い話で恐縮です）から、インターネットというものが使える部屋という認識（これもまた今の学生さんにとっては古い話ですね）だった頃を経て、さて今の存在意義は那邊にあるのか。単純にコンピュータが並んだ部屋なのではなく、ここに来なくてはできないことがある、そんな場所にするにはどうすればいいんでしょう。

というように、見識のある方ならば即答できるようなことに対してすら今の私には全くの手探り状態です。利用者の皆さん、教職員の皆さんに教を乞いながら、多数の人に利用される情報メディア教育センターにしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。





平成29年度第1回ブックハンティング

恒例の「ブックハンティング」を、平成29年6月11日(日)にジュンク堂書店大阪本店にて行い、計約190冊の本を買いました。その一部を左ページで紹介しています。

普段はなかなか行く機会のない大きな書店で目的の本を探しつつ、本と出合う喜びを味わっていたように思います。次回は11月に予定しています。



今年の集合写真。↑今回は各クラスの図書委員を中心に、学生33名、教職員12名の参加がありました。
←事前に各クラスでの希望調査にもとづいて本を探しています。書店が広いので、探すのは一苦労です。

学生図書委員会の活動報告

物質化学工学科4年 山下 貴央

皆さんこんにちは。今年度図書委員長を務めさせていただき事になりました4年物質化学工学科の山下です。今回は、CAMPUSのスペースをお借りして、図書委員会の普段の活動について紹介したいと思います。

図書委員会には4つの大きなプロジェクトがあります。図書委員はこの4つのプロジェクトのいずれかに所属し、学生が図書館を利用して良かったと思えるような企画、環境づくりを行っています。また、この4つのプロジェクトの他に、年に2回ブックハンティングという大きなイベントを開催しています。

続いて、各プロジェクトについて説明します。読書週間プロジェクトは、秋の「読書週間」に向けて、読書週間にふさわしい本を選書し、その本のオススメポイントをわかりやすく記し、最後に読書週間が盛り上がるように特設ブースに飾り付け等をするプロジェクトです。昨年度からテーマを1つに絞らずに、学生の好みに合うように様々なバリエーションの本を揃えています。広報プロジェクトは、年に1回図書館だよりを発行し、活動の様子を伝えるプロジェクトです。雑誌入れ替えプロジェクトは、図書館に配架されている雑誌の調査を行い、読まれていないまたは廃刊となった雑誌の購読の中止や、新規の雑誌の購読を提案するプロジェクトです。学生や教職員のニーズになるべく合うように2年前から学生全員に希望調査を行い、その結果と年間のデータを基に入れ替えを行っています。最後にメディアコンペティションプロジェクトは、高専祭期間中



に、学生が主体となる活動(学生チャレンジプロジェクトなどに、ポスター・展示・実演等の発表をできる場所を提供し、応援するプロジェクトです。

次にブックハンティングについて説明します。ブックハンティングは、各クラスで図書館に入れて欲しい本の希望調査を行い、それを図書委員が実際に大きな書店に行って購入するというプロジェクトです。書店が広いので本を探すのには苦労しますが、非常にやりがいのあるイベントです。

最後に、図書委員会は前任の図書委員長の時代から先生主体から学生主体へと変わり、活動自体もよりよいものとなるように毎年形を変えて行っています。図書委員会は非常に活発で充実している活動ですので、高専在学中に何かをやりたい、図書館をよりよい環境にしたい、図書委員会でこんな企画をしたい、などと思っている方は、是非来年から図書委員会のファミリーになりましょう！





夏休み期間中の図書館・総合情報センターの利用について

◎図書館

- 休館日
- 日中開館日 (8:30~17:00)

◎総合情報センター

- ☆ 日中開館日 (9:00~17:00)

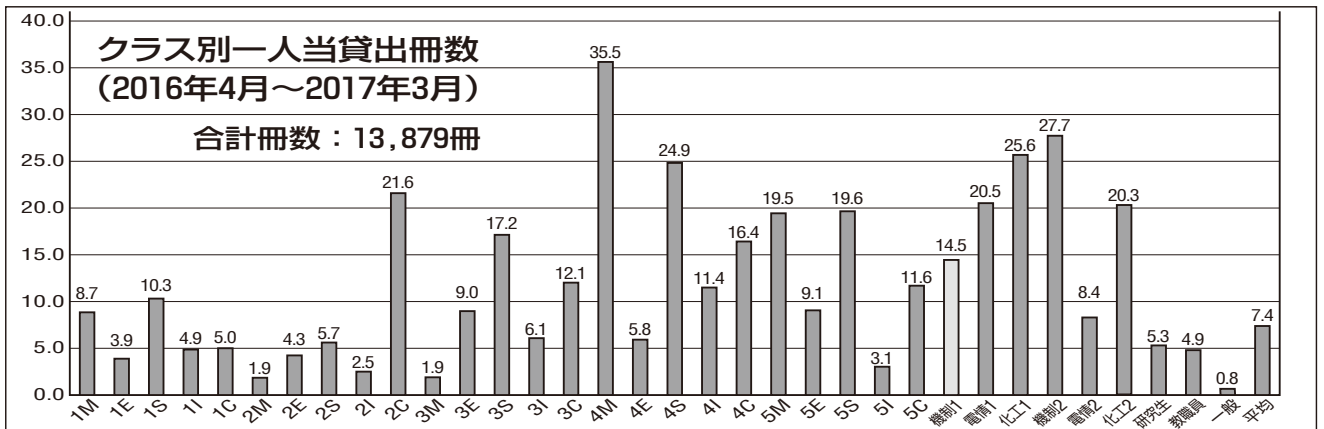
※(LL教室、マルチメディア演習室の開放はありません。)



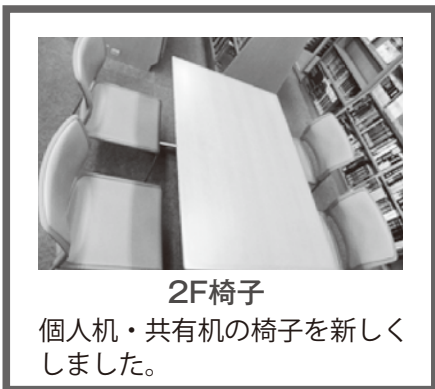
月	日	月	火	水	木	金	土
		24	25	26	27	28	29
7月							
	30	31					
8月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
		☆	☆	☆	☆	☆	
	27	28	29	30	31		
		☆	☆	☆	☆		

図書館利用実績

昨年度のクラス別貸出冊数をまとめました。上級生がよく本を借りています。



2F椅子・るるぶ・新着棚が新しくなりました。



第42回読書感想文コンクールのご案内

次の要領で、今年度も読書感想文を募集します。長い夏休み、余暇を十分に活用した力作を期待します。

- **対象図書** 感想文用参考図書(図書館にコーナーを設置) 他興味を持った図書
- **字 数** 所定の原稿用紙2枚以内
※できるだけ1枚半以上記述してください。
- **提出日** 9月1日(金)
- **提出先** 1・2年生はクラスで集めて国語科教員へ提出
3年生以上は国語科教員または各科委員、図書館へ提出
- **表彰** 優秀者10名程度を表彰の予定です。副賞として図書カードを贈ります。優秀者の作品を「図書館だより」にも掲載する予定です。



入試広報 2017

月 日	開 催 名	場 所	備 考
10月1日(日)	入試説明会(中学生・保護者対象)[大阪市 天王寺]	大阪教育大学天王寺キャンパス	国立5高専(奈良・明石・舞鶴・和歌山・高知)合同開催 14:00~16:30
10月7日(土)	入試説明会(中学生・保護者対象)[兵庫県 尼崎市]	尼崎市総合文化センター	明石高専と合同開催 14:00~16:00
10月9日(月・祝)	入試説明会(中学生・保護者対象)[大阪府 八尾市]	八尾市プリズムホール	14:00~16:00
10月14日(土)	入試説明会(中学生・保護者対象)[京都府 京田辺市]	京田辺市商工会館	14:00~16:00
10月15日(日)	入試説明会(中学生・保護者対象)[大阪府 堺市]	堺市産業振興センター	14:00~16:00
10月28日(土) 10月29日(日)	入試説明会(中学生・保護者対象)	本 校	学科・施設等の見学あり 10:30~15:30
11月5日(日)	入試説明会(中学生・保護者対象)[滋賀県 大津市]	ピアザ淡海	14:00~16:00
11月3日(金・祝) 11月4日(土)	高専祭(入試広報資料配付)	本 校	事前申込不要 詳細はWebで
11月18日(土)	入試説明会(中学生・保護者対象)[大阪市 天王寺]	大阪教育大学天王寺キャンパス	明石高専と合同開催 14:00~16:00
12月10日(日)	入試説明会(中学生・保護者対象)	本 校	14:00~16:00

○『入試説明会』のお申し込み方法

電話・ファックス・電子メールまたはハガキにて、連絡先・参加日・参加人数をお知らせください。

〒639-1080 大和郡山市矢田町22

奈良工業高等専門学校 学生課入試係 TEL:0743-55-6032

FAX:0743-55-6039 E-mail:nyusi@jimu.nara-k.ac.jp

○『高専祭』は、事前のお申し込みなしでご参加いただけます。

平成29年度 奈良高専 公開講座

講 座 名	開 催 日 程	対 象 ・ 定 員 ・ 受 講 料 等
みんなで協力して チャレンジ! 太陽電池を作って 環境クイズに答えよう	①10月14日(出) ②12月9日(出) 両日とも 14:00~16:00 ●2日間同一 講義内容 ●希望日選択	対 象 : 中学生(保護者見学可) 定 員 : 40名(定員20名(組) ×2日間) 受講料: 1,000円 (傷害保険加入なし) 申込期限: ①9月19日(火) ②11月14日(火) 会 場 : 奈良工業高等専門 学校 電気工学科

他にも「文化探訪講座」を開催する予定です。決まり次第、本校の公開講座Webページ(<http://www.nara-k.ac.jp/contribution/kokaikouza/>)に掲載しますので、そちらもご覧ください。

奈良国立博物館 「キャンパスメンバーズ」情報

「奈良国立博物館キャンパスメンバーズ」とは、奈良国立博物館と連携し、博物館所蔵の文化財を中心とする文化や歴史を学ぶため、学生証の提示によって、名品展は何度でも無料で、正倉院展などの特別展は400円で観覧することができる制度です。現在、奈良国立博物館では次の展示が予定されていますので、是非ともこの制度を有効に利用してください。

- ◆名品展 珠玉の仏たち(なら仏像館) 平成29年4月~平成30年3月
- ◆第69回 正倉院展 平成29年10月下旬~11月上旬
- ◆特別陳列 おん祭と春日信仰の美術
平成29年12月9日(出)~平成30年1月14日(日)
- ◆特集展示 新たに修理された文化財
平成29年12月26日(火)~平成30年1月14日(日)
- ◆修理完成記念 特別陳列 薬師寺の名画
平成30年2月6日(火)~3月14日(水)
- ◆特別陳列 お水取り 平成30年2月6日(火)~3月14日(水)

※詳細は奈良国立博物館ホームページをご覧ください。

<http://www.narahaku.go.jp/>

(参考)

(特別展・特別陳列) <http://www.narahaku.go.jp/exhibition/special.html>

(名品展) <http://www.narahaku.go.jp/exhibition/usual.html>

(展覧会カレンダー) <http://www.narahaku.go.jp/exhibition/calendar.html>

学生課窓口のご案内

~保護者の皆様へ~

学生関係の担当窓口は以下のようになっています。
用件により、該当する係の電話番号へ直接お問い合わせください。
受付時間は平日8時30分~17時です。
学生の呼び出し・伝言は行いませんので、あらかじめご了承ください。
なお、詳細は「学生生活のしおり」をご覧ください。

教務係 0743-55-6033

授業、定期試験、教科書、学籍異動(休学・復学・退学・卒業)欠席・忌引・欠欠・出席停止
大学編入学、専攻科、インターンシップ
学生証、住所・保証人等変更、在学・成績証明書 など

学生係 0743-55-6034

各種奨学金、高等学校等就学支援金、授業料等の免除・徴収猶予
課外活動、各種コンテスト、就職関係
自転車・単車通学、免許、学割、通学証明書、保健・学生相談関係 など

入試係 0743-55-6032

入学試験、体験入学、入試説明会
留学生・研究生 など

寮務係 0743-55-6035

寮生の生活、寮の諸経費、在寮証明書 など
※詳細は「寮生活のしおり」をご覧ください。

行事予定 (8月~11月)

- ◆ 8月31日(木) 夏期休業終了
開寮・寮生集会
学寮5年生と語る会
- ◆ 9月1日(金) 全校集会(短縮授業2)
- ◆ 9月7日(木) 学生会総会
- ◆ 9月15日(金) 前期末試験(22日(金)まで)
- ◆ 9月25日(月) 不可(A)再試験
単車安全講習会
- ◆ 9月26日(火) 答案返却期間(28日(木)まで)
- ◆ 9月29日(金) 後期授業開始
- ◆ 10月5日(木) 人権合同特活(1年)
- ◆ 10月11日(水) 5年卒業旅行(2泊3日 13日(金)まで)
- ◆ 10月13日(金) 秋季社会工場見学1~4年(日帰り)
専攻科学外研修(日帰り)
- ◆ 10月14日(土) 学寮スポーツ大会
- ◆ 10月19日(木) 古典芸能鑑賞会(2年)
- ◆ 10月21日(土) 学校報告会
- ◆ 10月22日(日) 高専ロボコン近畿地区大会(全国大会は12月3日(日))
- ◆ 10月24日(火) スポーツ大会(本科・専攻科全学年)
防災避難訓練
- ◆ 10月28日(土) 学校&入試説明会(29日(日)まで)
- ◆ 11月2日(木) 高専祭準備(短縮授業3)
- ◆ 11月3日(金) 高専祭(4日(土)まで)
- ◆ 11月5日(日) 高専祭後片付け
- ◆ 11月6日(月) 高専祭後片付けの振替休日
- ◆ 11月8日(水) 月曜振替授業
- ◆ 11月9日(木) 学寮防災避難訓練
- ◆ 11月10日(金) 近畿地区高専体育大会(ラグビー 13日(月)まで)
- ◆ 11月11日(土) 近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト
(12日(日)まで)
- ◆ 11月13日(月) 公開授業(17日(金)まで)
- ◆ 11月16日(木) 選択科目履修説明会(4年)
人権特別講演会(4年)
- ◆ 11月24日(金) 1~4年後期中間試験(30日(木)まで)

編集後記

新年度が始まって4ヶ月が過ぎ、新入生の皆さんは学校生活にも慣れてきた頃でしょうか。学校生活では入学前・入学後にもった夢や目標を意識して、充実した日々を過ごすことを期待しています。さて、今回の記事では学生チャレンジプロジェクト、グローバル教育、クラブ活動などについて紹介しています。これらは奈良高専の教育理念である「創造の意欲」、「幅広い視野」、「自律と友愛」をもとに主体的、積極的に日々努力した活動の成果だと思います。皆さんのさらなる活躍を楽しみにしています。
奈良高専広報室

CAMPUSについて

本校では、広報誌「CAMPUS」を8月、12月、3月の年3回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ)>学生生活>CAMPUS(広報誌)にも掲載しています。

